



平成 18 年 6 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション  
 代 表 者 名 代表取締役社長 二宮 利彦  
 コード番号 1 7 1 2 東証マザーズ  
 問 合 せ 先 取締役企画管理部長 村上 実  
 電 話 番 号 0 5 2 ( 6 1 1 ) 6 3 5 0 ( 代 表 )  
 当社の親会社 株式会社 ダイセキ  
 代 表 者 名 代表取締役社長 伊藤 博之  
 コード番号 9 7 9 3 東証・名証第一部

## 平成 19 年 2 月期業績予想の修正に関するお知らせ

当第 1 四半期の実績及び最近の状況を踏まえて今後の動向を検討した結果、平成 18 年 4 月 14 日に公表いたしました平成 19 年 2 月期（平成 18 年 3 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日）の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 中間期業績予想数値の修正（平成 18 年 3 月 1 日～平成 18 年 8 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,889	96	53
今 回 修 正 予 想 (B)	2,089	126	74
増 減 額 (B-A)	200	30	21
増 減 率 (%)	10.0	31.0	39.3
前 期(平成 17 年 8 月中間期)実 績	1,477	75	43

## 2. 通期業績予想数値の修正（平成 18 年 3 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,000	240	132
今 回 修 正 予 想 (B)	4,200	270	148
増 減 額 (B-A)	200	30	16
増 減 率 (%)	5.0	12.5	12.5
前 期(平成 18 年 2 月期)実 績	3,215	181	105

## 3. 修正理由

不動産売買をはじめ、減損会計、環境報告書他、様々な経済活動の中で、土壌汚染に係わる環境リスクの認識が一層深まり、浸透しております。そうした社会的背景のもとに、土壌調査・処理とも、実施件数は着実に増加しております。特に、当第 1 四半期は本日付の「平成 19 年 2 月期第 1 四半期財務・業績の概況」で発表のとおり、受注が堅調に推移したことにより、大幅に業績を伸ばすことができました。また、足元の受注状況につきましても引き続き順調に推移しております。

これらの状況を背景に、当中間期の売上高は 2,089 百万円（前回予想比 200 百万円の増加）、経常利益は 126 百万円（前回予想比 30 百万円の増加）、当期純利益は 69 百万円（前回予想比 16 百万円の増加）となる見込みであります。

また、通期につきましては、売上高 4,200 百万円（前回予想比 200 百万円の増加）、経常利益 270 百万円（前回予想比 30 百万円の増加）、当期純利益 148 百万円（前回予想比 16 百万円の増加）となる見込みであります。

以上